

第187回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2005年 7月25日(月) 13時~17時45分

会場: [東京理科大学薬学部校舎](#) 薬学部1445教室(14号館4階) [アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題: HPLC前処理技術の進歩; 最新の固相抽出製品・技術の紹介とノウハウ提 供

開催趣旨: 固相抽出法(SPE)はHPLC、LC-MSなど機器分析の前処理法として広く普及している。SPE製品は多くのメーカーから多種多様の製品が供給されているため、ユーザーは自分のテーマに応じた固相の選定や前処理法の確立に必要な情報収集に時間をとられてしまう。そこで各社製品の特長や最適な固相の選定法、最新の前処理技術など総合的な情報を各社から講演いただき、分離分析のための前処理技術として多くの有益な技術・情報の共有を図りたいと考えている。

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(ケムコ)谷川 哲也

2. 効率的な前処理のための有機高分子SPEメディアの開発 (13:05~14:00)

(京都工芸繊維大学繊維学部)細矢 憲

3. 弱アニオン交換ポリマーSPEカラム(CHROMABOND Easy)の基本特性 (14:00~14:30)

(Macherey-NAGEL、ケムコ)Dirk Reiger、○谷川 哲也

4. カーボン系固相抽出の応用 (14:30~15:00)

(シグマアルドリッチジャパン)金子 敏郎

5. 内面修飾型前処理カラムShim-pack MAYIシリーズによる血漿中薬物分析 (15:00~15:30)

(島津製作所)山部 恵子

6. 知って得する最速固相セレクションアプローチ (15:45~16:15)

(日本ウォーターズ)佐々木 俊哉

7. 無機分析のための、分離技術の動向 (16:15~16:45)

(ジーエルサイエンス)古庄 義明

8. 新しい悪臭物質濃縮・分析手法のご紹介 (16:45~17:15)

9. 総括:前処理技術の進歩 (17:15~17:45)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、会員外:3,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会

講演終了後、講師を囲んで立食パーティーを開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572]